

2024 ズバリ! 的中 世界史

慶應義塾大学

アジア諸国とアメリカ合衆国の経済成長率のグラフが的中

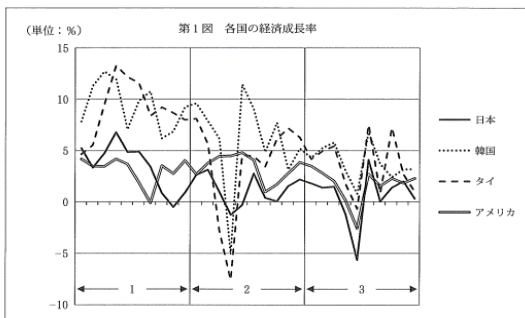
入試問題

2月13日実施 経済学部 B方式
Ⅲ 問14

河合塾

冬期講習
早慶大世界史
第4講 3 問4

問14 下線部Gに関連して、次の第1図は、20世紀後半から21世紀前半にかけてのある30年間におけるアジア3カ国とアメリカの経済成長率の動向をグラフ化したものである。図の横軸の1～3は、10年ごとの区分である。次のa～dの出来事が起きた時期を、第1図の1～3の中からそれぞれ選びなさい。ただし、1の時期より前の場合は0を、3の時期より後ろの場合は4を選びなさい。
aの解答は解答欄(13)に、 bの解答は解答欄(14)に、 cの解答は解答欄(15)に、
dの解答は解答欄(16)に、
その番号をマークしなさい。(重複使用不可)



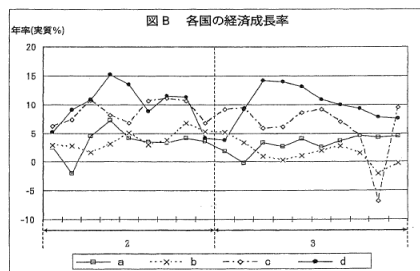
資料出所：International Monetary Fund, World Economic Outlook Database より作成。

- a. アメリカでバラク・オバマが大統領に就任した。
- b. インドネシアでスハト政権が倒れた。
- c. 日中平和友好条約が締結された。
- d. マルタでアメリカ大統領とソ連共産党書記長が会談した。

第 4 講

(2) 以下の図Bは、図Aの2と3の時期における、ある4カ国の年平均経済成長率の推移をグラフ化したものである。図Bのa～dに該当する国名を次の1～4の中から、それぞれ選べ。

- 1. アメリカ
- 2. 韓国
- 3. 中国
- 4. 日本



【出所】 The World Bank, World Development Indicators 2008 より作成。